

教育実践学会

第17回大会

プログラム

会 期 : 2009年10月18日(日)

会 場 : 茨城県水戸生涯学習センター
(住所: 茨城県水戸市愛宕町4-1)

教育実践学会第17回大会事務局

〒310-8585 水戸市見和1-430-1

常磐大学人間科学部教育学科 金藤 ふゆ子 研究室内

TEL/FAX : 029-232-2607

e-mail : kanefuji@tokiwa.ac.jp

〈大会日程〉

9:00 ~	受 付	茨城県水戸生涯学習センター 1F
9:30 ~ 12:40	自由研究発表	第1会場 茨城県水戸生涯学習センター 1F 124 教室
		第2会場 茨城県水戸生涯学習センター 1F 121 教室
		第3会場 茨城県水戸生涯学習センター 2F 211 教室
12:40 ~ 13:20	理 事 会 休憩・昼食	1F 124 教室
13:30 ~ 14:00	基 調 提 案	茨城県水戸生涯学習センター 2F 211 教室
14:10 ~ 16:10	シンポジウム	茨城県水戸生涯学習センター 2F 211 教室
16:20 ~ 17:00	総 会	茨城県水戸生涯学習センター 2F 211 教室
17:20 ~ 18:30	情報交換会	茨城県水戸生涯学習センター 1F グリル

〈大会参加要項〉

1. 受 付: 10月18日(日)9:00より茨城県水戸生涯学習センター1Fにて行います。
2. 参 加 費: 会員は、1,000円
非会員は、1,500円
院生・学生は、500円 ※発表要旨集録代を含む
3. 学 会 費: 2009年度会費は、5,000円です。(2008年度以前の会費が未納の方は、合わせて納入下さいますようお願い申し上げます。)
4. 情報コーナー: 当日、研究発表資料や会員の方々に配布を希望する資料等をお持ちの方は、受付までお持ち下さい。また、若干ではありますが、教育書籍の展示販売も行います。
5. 情報交換会: 会員・非会員は、3,000円
院生・学生は、1,500円
6. 連 絡 先: 常磐大学人間科学部 教育学科 金藤 ふゆ子 研究室
〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1
TEL/FAX: 029-232-2607
Mail: kanefuji@tokiwa.ac.jp
7. 昼 食: ご希望される方はセンター1Fのグリルをご利用下さい。
8. 駐 車 場: 当日センター内の駐車場にて、スタッフがご案内いたします。

座長 本田 和夫 (水戸市立第一中学校)

9:30

中学校第1学年「文字と式」の指導を例に数学科指導法の在り方を振り返る

増田 忠廣 (水戸市立赤塚中学校)

10:00

児童が主体的に考え、思考力を付けるための算数科学習指導の在り方—第2学年「かけ算」における「キーワード・図・式」等を関連付けて考える活動を通して—

中村 珠美 (水戸市立緑岡小学校)

10:30

数学を学ぶ意義が実感できる学習

佐藤 宗夫 (茨城大学教育学部附属中学校)

11:00

児童主体の学習展開をめざす単元構成のあり方—3学年理科「豆電球に明かりをつけよう」—

森 久美子 (水戸市立五軒小学校)

11:30

授業「一個のハンバーガーから世界が見える」における教材に関する考察

佐川 雄太 (常磐大学人間科学部 学生)

渡邊 光雄 (常磐大学人間科学部)

座長 中川 稔 (小美玉市立小川小学校)

9:30

体験活動を生かした道徳の時間の指導の在り方
—自作資料の開発を通して—

徳武 弘幸 (水戸市立千波中学校)

10:00

自信力を育てる道徳教育

関塚 滋 (坂東市立沓掛小学校)

10:30

子どもが創る親子で体験クラス行事の実践
—ハーブを用いたクリスマスリース作りの行事に関わって—

千葉 雄司 (慶應義塾幼稚舎)
相場 博明 (慶應義塾幼稚舎)
森山 賢一 (玉川大学教育学部)

11:00

高大連携の実践

—柏の葉高校・船橋北高校と大学の連携事業を中心にして—

神野 建 (東京情報大学)

11:30

新教育課程が求める「体験的な学習の指導」の充実と課題

森山 賢一 (玉川大学教育学部)

12:00

子どもの問題行動に見られる自己概念 (Self Concept) と生徒指導
の在り方—子どもの意欲・やる気にかかわって—

森山 賢一 (玉川大学教育学部)

柏 頼英 (常磐大学人間科学部[非])

学校・家庭・地域住民等の連携・協力による生徒指導の取り組み
—水戸市立浜田小学校の事例を中心として—

柏 頼英 (常磐大学人間科学部[非])

森山 賢一 (玉川大学教育学部)

座 長 瀬尾 京子 (常磐大学人間科学部[非])

9:30 「総合的な学習の時間」における教科との横断的な繋がりと学習の総合性に関する考察
—茨城大学教育学部附属小学校教育実践「総合学習」と「総合的な学習の時間」の分析を通して—
梶 正憲 (常磐大学大学院人間科学研究科院生)

10:00 学校教育における飼育・栽培に関する歴史的研究
—明治後期の学校園における一実践である南崎兼左衛門の「一徳園」から見た飼育・栽培について—
西 あかね (常磐大学大学院人間科学研究科院生)

10:30 古典に親しむ態度を育てる授業づくり
矢崎 寛子 (茨城大学教育学部附属中学校)

11:00 義務教育における会計教育実践の可能性
渡邊 利視 (茨城県立水戸商業高等学校)

11:30 音楽科教育における歌唱指導法について
—コーネリウス・L・リードのベル・カント唱法を中心に—
三次 摂子 (茨城大学大学院教育学研究科院生)
藤田 文子 (茨城大学教育学部)

12:00 中学校就学時における生徒と保護者の不安に関する研究
大川 久 (鉾田市教育委員会)
山口 豊一 (跡見学園女子大学)

理 事 会 12:40 ~ 13:20 (124 教室)

※ 各自由研究発表会場終了後、13 時 20 分までを休憩および昼食の時間といたします。

※ ご昼食を希望される方は、1F グリルをご利用ください。

基 調 提 案 13:30 ~ 14:00 (211 教室)

『学校・家庭・地域の連携と今後の教育の在り方』

講師 池 田 馨
(茨城県水戸生涯学習センター長)

「子どもを健全に育成するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠である」ということは以前から決まり文句のように言われ続けてきた。しかし、簡単なようで、しかも誰もが必要である事は分かっているのに現実はなかなか難しく、簡単には連携が進んでいないのが現状である。ただ、最近は以前に比べるとかなりの進展が見られる。

このような時に、もう一度三者の連携の在り方を考え、子どもたちのためにどうすることが一番良いのかを考える機会にできたらと思う。

プロフィール：1947 年生まれ

国立磐梯青年の家、茨城県立社会教育センターにて勤務後

水戸教育事務所所長、水戸市立五軒小学校校長を経て現在に至る

シンポジウム

14:10 ~ 16:10

(211 教室)

地域全体で子どもたちをはぐくむ仕組みをどう構築するか —その現状と課題—

シンポジスト

大塚 雅夫 (つくば市立竹園東中学校校長)
滝田 誠 (筑西市教育委員会生涯学習課課長補佐)
池田 馨 (茨城県立水戸生涯学習センター長)

司会 田沼 政志 (筑西市立下館南中学校教頭)

本シンポジウムは、今日、期待される学校、家庭及び地域住民等との連携・協力による社会全体で子どもたちをはぐくむ仕組みをどう構築するのか、その現状と課題を検討することを目的としている。

現在、学校は教職員及びPTA等の学校関係組織のみではとても対応しきれない様々な諸課題に直面している。その諸課題とは、学校が本来の業務として取り組むべき児童・生徒の教育活動に関するものばかりではなく、保護者に関する問題、さらには子どもを取り巻く社会の急激な変化に伴って生じる問題などその内容は多岐にわたり、教職員等の対応の限界を超えた問題も少なくない。

そうした諸課題への対応は、平成18年の改正教育基本法第13条において「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする」との新たな条文の中に規定されたように、社会全体で子どもたちをはぐくむ仕組みを検討することが不可欠であり、またそうした取り組みによって諸問題の解決も可能になると考えられる。さらに学校、家庭及び地域住民等の連携・協力による教育活動は、これまでにない優れた教育実践に繋がることも期待されている。しかし、言うは易しであって実際には様々な問題、障害、藍路がある。

本シンポジウムでは、今日の学校教員の置かれている困難な職務の実態を踏まえながら、学校支援地域本部事業や、さらには学校、家庭及び地域住民等の連携による教育実践を展開するために設立されるNPO法人の活動など先導的事例のご紹介も頂きながら、本テーマに関する検討を深めることを目指したい。

総

会

16:20 ~ 17:00

(211 教室)

挨拶 菊池 龍三郎 (茨城大学名誉教授 教育実践学会会長)

情報交換会

17:20 ~ 18:30

(グリル)

司会 藤田 文子 (茨城大学教育学部 准教授)